つくば市 総務課
-4.9.16
収受
第493

陳情 4 第 17 号

令和４年９月１６日

つくば市議会議長　小久保　貴史　　様

市内に早成桐を植樹しCO2削減対策を進めることに関する陳情書

陳情者　住所　つくば市[redacted]

氏名 [redacted]

（法人の場合は、その名称及び代表者の氏名）

連絡先 [redacted]

○陳情趣旨

早成桐とは、５～６年で大木となる桐の１種類である。１本の桐が吸収するCO２の量は、広葉樹約２０本分と言われている。

つい最近では、群馬県安中市において、早成桐の植樹祭が行われた。安中市では、遊休農地や耕作放棄地に早成桐を植栽し、ＣＯ２削減や産業振興に役立てていく考えで、１００ヘクタールの植林を目指している。

つくば市においても、公共用地や遊休農地、耕作放棄地に、早成桐を植栽し、ＣＯ２の削減対策、環境対策につなげ、環境先進都市つくばを実現してほしい。

よって下記について陳情いたします。

○陳情事項

１　市内の公共用地や遊休農地、耕作放棄地に、早成桐の植樹を推進し、ＣＯ２削減対策を進めるとともに、荒廃農地の発生防止・解消を図ること。

2　環境教育の一環として、未来ある子供たちに早成桐の植樹を通して、環境問題についての関心を高めさせること。

3　筑波大学、つくば市、桐を扱う民間会社の産官学で連携し、早成桐の新たな活用方法を生み出し、市内の産業振興に役立てること。

4　環境先進都市として、世界に誇れる「桐のまち　つくば」を実現すること。

※ 筑波大学の紋章は、桐の紋章を使用している。